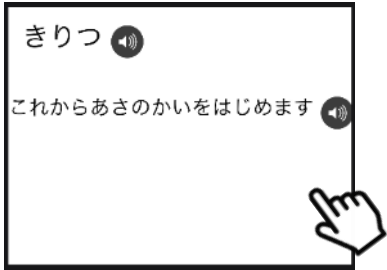



学部 高等部	執筆者 西本宏紀
単元及び題材名 朝の会	
授業名（主たる教科領域） ホームルーム	
対象学年・グループ 高等部2年1組	

使用機器及びアプリの名称とその特徴	
iPad キーノート	アイコンをタップすることで端末が言葉を話してくれる

使用機器及びアプリの選定理由
発語がない生徒の朝の会の司会の時に、その生徒のペースで自発的に司会ができるように、タップをすることで代わりに喋ってくれるようにアプリを設定した。

●指導内容
<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分のペースで朝の会の司会・進行をすることができる。</li> <li>iPadをタップすることで端末が話すことを理解して、自発的に端末を操作することができる。</li> </ul> <p>&lt;内容（使用方法・指導の工夫点）&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>例 1</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>例 2</p>  </div> </div> <p>例 1 画面をタップする度に、「きりつ」「これから朝の会を始めます、礼。」と話すように設定。</p> <p>例 2 画面をタップする度に、「時間割発表です。」「〇〇くん（係の生徒の名前）お願いします。」と話すように設定。</p> <p>始めは、使い方や仕組みが分からなかったなので、使い方を丁寧に伝えました。元々iPadには慣れていたのですぐに方法を覚えてくれました。</p>

●指導の効果・今後の課題
<p>始めは教師も近くにいて使い方を指導したり、タップのタイミングを伝えたりしていましたが、回数を重ねることで、教師が近くにいなくても一人でタップするようになり、朝の会の始まりから終わりまで自分のタイミングで司会・進行することができるようになりました。</p> <p>今はiPadを一人で棚から出し入れする練習をしています。</p>